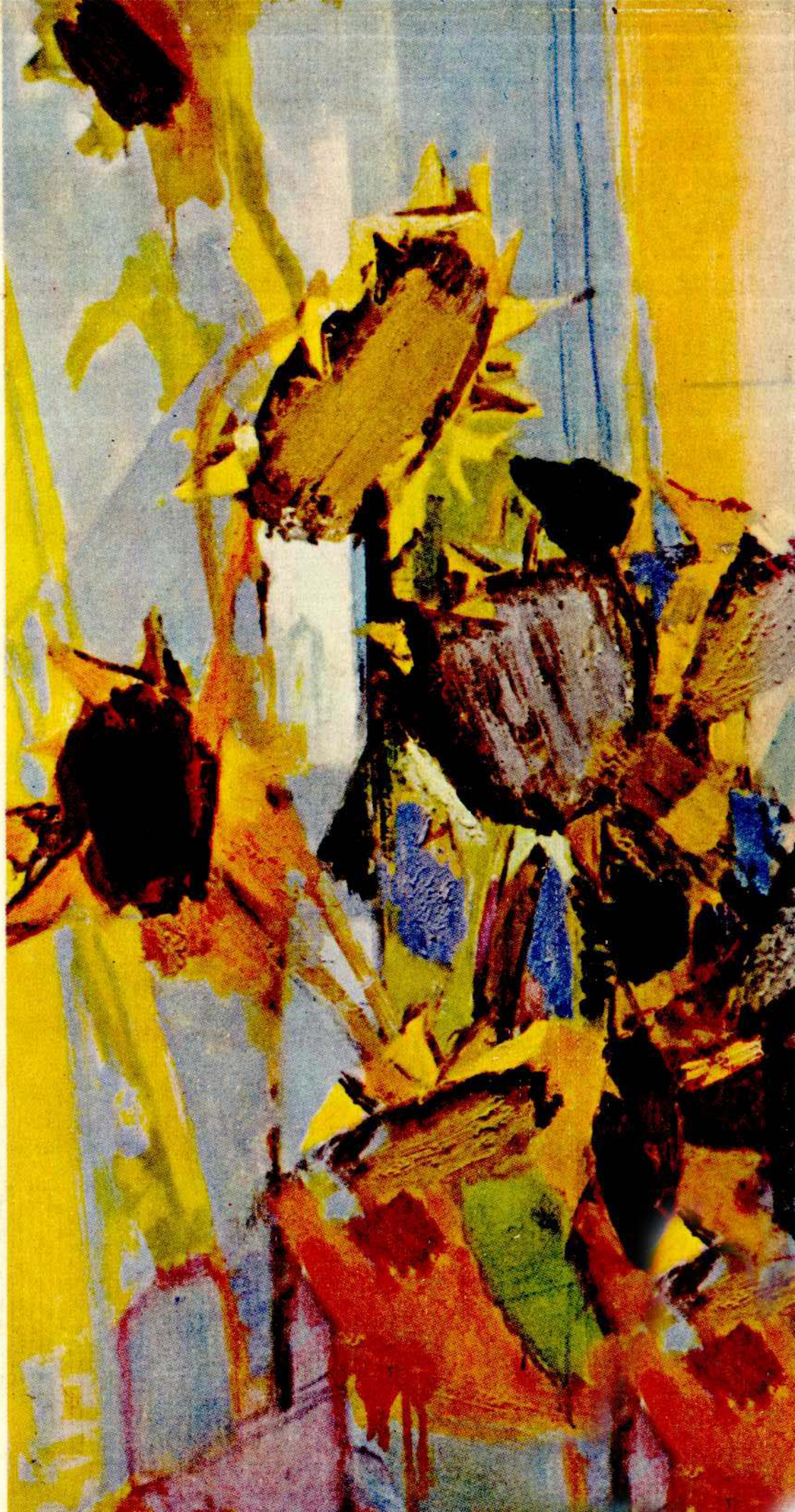


世界のことわざ

— 民族の知恵 —

矢崎源九郎編著



編著者略歴

矢崎 源九郎 (やざき げんくろう)

1921年 山梨県に生る

1943年 東大文学部卒業

1967年 死去

＜著訳書＞ 「日本の外来語」「これからの日本語」「イタリア語の話」
「ビルマ語概説」「子供に読ませたい本」「世界の民話」

＜お願い＞

☆ご愛読ありがとうございました。小社ではみなさまの声を参考に、より良い本を作るよう努力しておりますので、本書の読後感をお聞かせくだされば幸いです。また内容や造本についても、お気づきの点がありましたらご指摘ください。

☆現代教養文庫の定価は、すべてカバーに明記してあります。

☆万一、落丁乱丁の場合は、直接小社にお送りくだされば早速お取替します。

☆本書巻末に記載の広告中、定価に変更がある場合もありますので、あらかじめご了承ください。

現代教養文庫 498

世界のことわざ

© 1964

昭和 40 年 1 月 5 日 初版第1刷発行

昭和 53 年 6 月 30 日 初版第26刷発行

編 著 者 矢 崎 源 九 郎

発 行 者 小 森 田 一 記



発行所 株式会社 社 会 思 想 社

(113) 東京都文京区本郷1-25-21

電話代表 (03) 813-8101

振 替 東 京 6-71812

0139-10498-3033

城北センター

現代教養文庫

498

世界のことわざ

＜民族の知恵＞

矢崎源九郎 編著

 社会思想社

はじめに —ことわざについて—

長い歴史の流れのあいだに、人類は生活をめぐってのいろいろな知恵を生みだした。その中でも、民衆のあいだに生まれ、はぐくまれ、言いならわされてきたことわざなどは、人間生活の経験の結晶を端的にものがたる、もっとも素朴なあらわれの一つであろう。それは、多くの場合、比喩ないしは隠喩という形をとる短い簡潔な表現であり、現代人にとっても、ときにはすぐれた忠告となり、ときには有益な指針となる。

ことわざは、上層階級、知識階級からではなく、庶民大衆のあいだから生まれる。それらはなんの飾りもなく、なんの高尚さもない。民衆のなまのことばを使って、世俗的な観察を表現する。卒直で、あけすけで、無遠慮だ。ときには粗野で、卑俗でさえある。人間の愚劣さをあざけり、弱点をあばき、困窮と欠乏をあからさまにばくろする。どのような民族、種族のことわざにおいてもそうである。だがその一方において、ことわざは人間の善良さをも認め、善良さを信じる。ここに古今東西をつうじて変わることのないことわざの価値がある。

人類は、民族のいかに問わず、人種のいかに問わず、また環境にも文化の状態にも左右されることなく、つねに、自然に対する恐れ、生きるための飲み食い、男と女をめぐる愛と憎しみ、怒りと悲しみによって支配されてきた。いかなる時代のいかなる文明も、人類のうちにひそ

むこうした本能を根絶することは、けっしてなかった。この点において、あらゆることわざは一本の糸に結びつけられる。民族により人種によって、表現の仕方、描き出し方は異なっているとも、ことわざにももられている思想、知恵は、根本的には全人類に普遍的といっても過言ではあるまい。

「ローマにあっては、ローマ人のごとくせよ。」

(イギリス)

「トウモロコシを食べるネズミの穴にはいったら、やはりそうせよ。」

(ガーナ)

「ヘビを食べる土地に行ったら、ヘビも食べよ。」

(南アフリカ)

「郷に入^こっては郷に従^{したが}う。」

(日本)

「恋する者にとっては、どんなインキのしみもヴィーナスだ。」

(ドイツ)

「醜いものも、愛する人にはきれいに見える。」

(ポルトガル)

「あばたもえくぼ。」

(日本)

これと同じ糸の輪は、さらに到る所へのびてゆく。各民族各種族に遠い祖先から言いつがれてきたことわざは、同じ人生の真理の一断片を伝えていることがしばしばである。

しかし各民族、各人種の、表現を異にするいろいろなことわざを、ほんとうに理解するためには、そのことわざの行なわれている土地へ行^いって、その人々の生活の中に融けこまなければならぬ。かれらの風俗、習慣になじみ、それらのことわざが、いつ、いかなるときに、どんなふうに応用されるかを知^しってはじめて、十分の理解ができるのである。つまりことわざは、それを

用いる人々の生活そのものや、風俗、習慣と、密接に結びついているのである。

ところで、世界の諸民族、諸種族のあいだに行なわれていることわざは、おそらく、ほう大な数にのぼるであろう。ヨーロッパだけにひろまっていることわざの実数は百万に達するといわれ、エストニアの民俗学的文献にはじつに十一万が記載されている。フィンランドの民俗学者はフィンランドのことわざの数をおよそ一千五百万と算定している。

ヨーロッパで特にことわざのゆたかな人々としては、まずロシア人、ついでスペイン人が挙げられるが、日本には従来イギリス、フランスあたりのことわざが、もっとも多く紹介されてきた。もとより、フランスだけを例にとっても人生の重要問題万般にわたることわざが見られはするが、いままでに日本で刊行されている「世界のことわざ」がほとんどすべて、イギリス、フランスなどの西ヨーロッパ中心のものであるから、この本ではそういう片寄りをさけて、広く全世界に目をむけ、およそ百の国々や地方、民族、種族のあいだから、ほぼ二千六百に達することわざを集録した。

それらのことわざ全般について、ここでくわしく述べる余裕はないが、ひとことふたこと触れておくと、たとえばアフリカその他の未開民族にあっては比較的淳朴健全で、かなり短いことわざが多く、したがってわれわれにも特別の予備知識なしでも理解しやすいこと。いっぽう哲学的瞑想的天分がゆたかかと考えられがちな民族、たとえばインド人などにあっても、ことわざはやはり実生活の知恵を表わす実的なものがほとんどをしめているということ、などが目につく。

西ヨーロッパ諸国では、ことわざはやがて完全に死に絶え、忘れ去られてしまうだろうとみる

人もある。たしかに、一般的にいつて、ことわざの数が少なくなってきたのは事実である。しかしそれでもなお、フランスなどでも、人々は新しいことわざを知ることを喜び、知っていることわざが引用されると得意になったり、また証明を強調したり、理窟をかざったりするために、たえずことわざを用い、新聞でも論説にさえ利用されているのが現状だ。つまりことわざは、数こそ減ったとはいえ、こんにちなお生きているのである。これと同じようなことは、日本についてもいえるだろう。

ことわざは民衆のあいだから生まれたものであるという本性からみて、たとえことわざに似ていても、だれか特定の個人に発すると考えられる箴言や、聖書その他の聖典にもとづく語句、あるいは古代ギリシャ、ローマなどの古典に由来する格言は、この本では除外することにした。そのかわり、すこしく色どりをそえるために、同じく民衆のあいだで長年にわたって語りつがれてきた民話十五篇を、「民族の知恵」という意味で加えておいた。また翻訳にあたっては、もとのことわざの表現の仕方を生かすために、なるべく原語の流れにそった訳し方をして、

「悪魔を壁にかけば、悪魔が現われる。」

(ドイツ)

「天使の話をすれば、天使の翼の音がする。」

(イギリス)

「オオカミの話をすると、かならずオオカミのしっぽが現われる。」

(ワルーン人)

というふうにし、日本流に「うわさをすれば影」とはしなかった。こうすることによって、ときには諸民族のこころのあらわれ方に、ときには背後にひそむ風俗、習慣などに、接していただきたかったからである。

世界の諸民族、諸種族とは、われわれはいろいろな生活条件において異なっていたし、これらもまた異なるであろう。しかし、さきほどもいったとおり、いろいろな形をとって現われることわざの知恵の中には、全人類に共通するものがある。われわれは他民族のことわざを学ぶことによって、自らの知識をふやし、経験をゆたかにすることができよう。

さいごに、主な参考書だけを挙げておく。

C. F. Wander: Deutsches Sprichwörter-Lexikon——ein Hausschatz für das deutsche Volk, Leipzig, 1867~80.

S. G. Champion: Racial Proverbs, London, 1938.

J. Pineaux: Proverbes et Dictions Français, (田辺貞之助訳: フランスのことわざ, 白水社)

D. C. Browning: Everyman's Dictionary of Quotations and Proverbs, London, 1951.

K. Rauch: Sprichwörter der Völker, Düsseldorf-Köln, 1963.

J. Jahn: Die Welt ist Wind, München, 1962.

一九六四年十一月二十日

矢崎 源九郎

目次

はじめにーことわざについてー……………三

〈1〉

あなたが

愛と希望に

生きるとき……………一五

〈2〉

あなたが

家庭と生活を

考えるとき……………三七

〈3〉

民話へ一番きれいなおかみさん……………一六

希望と幸福……………一六

愛と憎しみ……………二〇

結婚について……………二六

夫婦について……………二九

民話へお祭りのはじまり……………三六

父と母について……………四〇

親と子について……………四二

年よりについて……………四九

住居と家庭……………五一

食事と料理……………五四

衣服について……………六三

民話へしあわせなバー……………六六

あなたが
隣人と

つき合うとき……………五

〈4〉

あなたが
知恵の泉を

求めるとき……………八三

〈5〉

あなたが

交際について……………六

隣人について……………七二

親戚・兄弟……………七三

友だちと友情……………七四

善人と悪人……………七九

盗人・嘘つき……………八〇

民話△三つのなぞ▽……………八四

知識について……………八六

知恵について……………八七

賢者と愚者……………八八

嘘について……………九二

沈黙とおしゃべり……………九三

ことばについて……………九六

読書と学問……………九八

芸術について……………一〇〇

民話△カメとキツネ▽……………一〇三

人生について……………一〇四

人生の機微に
接するとき……………二二

〈6〉
あなたが
自分の性質を
気にするとき……………三九

「生れ」について……………	一〇六
人間について……………	一〇八
生命と価値……………	一一一
幸運と願い……………	一二三
男と女……………	一二五
男について……………	一二六
女について……………	一二七
老いと青春……………	一二六
民話へ逃げた鳥V……………	一三〇
美しさについて……………	一三三
美徳・善行・良心・誠実……………	一三三
礼儀・親切……………	一三五
正義と勇敢……………	一三六
忍耐とせっかち……………	一三七
臆病について……………	一三八
うわさについて……………	一三九
復讐・不正……………	一四〇

〈7〉

あなたが

処世について

学びたいとき……………一四五

〈8〉

あなたが

働くことの意味を

考えるとき……………一六七

興奮と怒り……………	一四二
ケチとガメツサ……………	一四三
悪行について……………	一四三

民話へあわれなコブラV……………	一四六
処世術について……………	一四六
人生経験について……………	一五〇
自惚と分別……………	一五三
慎重・深慮……………	一五六
勇気・行動……………	一五九
軽卒・油断……………	一六三
その他……………	一六六

民話へ商売上手の小ウサギV……………	一六八
金について……………	一七〇
富ともうけ……………	一七三
働くことについて……………	一七五
金持と貧乏人……………	一七七

〈9〉

あなたが

社会のあり方に

関心をもつとき……一八七

〈10〉

あなたが

自然を

愛するとき……二〇七

勤勉と怠け者……………一八一
職業について……………一八三

民話へ娘とふたりの恋人V…………一八八

世の中について……………一九〇

国家と民衆……………一九二

法律と習慣……………一九三

真理・道理……………一九五

真実について……………一九七

主人と召使……………二〇〇

名誉と自由……………二〇三

争い・英雄……………二〇三

民話へ太陽と月V…………二〇八

自然について……………二一〇

四季について……………二一〇

天候・時……………二一二

天空の真理……………二一六

草木について……………二一七

〈11〉

あなたが

病と心の悩みに

うちかつとき……………三九

〈12〉

あなたが

心の慰みを

求めるとき……………四七

〈13〉

あなたが

信仰について

家畜さまざま……………二八

魚と鳥と……………三二

けものその他……………三三

民話へ人間のからだへ……………三〇

人体について……………三二

眠りと健康……………三四

病気について……………三五

医者と薬……………三七

死について……………三九

逆境と苦悩と……………四三

民話へ死人の骨へ……………四八

祭りと遊び……………五〇

酒と酔い……………五一

民話へ軽はずみなおしゃべりへ……………五六

天国と地獄……………五八

信仰と祈り……………五九

思いめぐらすとき……二五五

〈14〉

あなたが

お国柄を

知りたいとき……二六九

〈15〉

あなたが

ユーモアを

解するとき……二八三

教会・牧師……………二六〇

神と仏について……………二六一

悪魔について……………二六六

民話へのらくら者フィランツォ……………二七〇

アジア……………二七二

ヨーロッパ……………二七四

アメリカ……………二七六

オセアニア……………二七八

アフリカ……………二七八

民話へ名医のやせぐすり……………二八四

人生について……………二八六

女と結婚と息子……………二八九

身体について……………二九一

仕事と生活……………二九三

悪魔・神・死……………二九四

生きものについて……………二九五

あとがき……………二九七

I

あなたが愛と希望に生きるとき

